



2011年 11月 1日

各 位

会 社 名 : 株式会社 ナ ガ セ
代 表 者 名 : 代表取締役社長 永瀬 昭幸
(JASDAQ コード番号 9733)
問 合 せ 先 : 取締役総務本部長 重清安雄
電 話 番 号 : (0422) 45 - 7011

第2四半期累計期間の連結・個別業績予想の修正

最近の業績動向を踏まえ、2011年5月13日付「平成23年3月期 決算短信」で公表の第2四半期累計期間(自2011年4月1日 至2011年9月30日)の業績予想について、下記の通り修正をいたしますので、お知らせいたします。

記

1、 2012年3月期 第2四半期累計期間 業績予想の修正

(1) 連結業績予想との差異(自2011年4月1日 至2011年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	16,560	△ 117	△ 221	△ 387	△40.39
今回修正予想 (B)	16,242	△ 413	△ 575	△ 632	△66.04
増 減 額 (B-A)	△ 318	△ 296	△ 354	△ 245	—
増 減 率 (%)	△ 1.9	—	—	—	—

(ご参考)

前期第2四半期実績 (2011年3月期第2四半期)	15,760	△ 1,162	△ 1,301	△ 1,748	△182.36
------------------------------	--------	---------	---------	---------	---------

(2) 個別業績予想との差異(自2011年4月1日 至2011年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	8,805	△ 299	△ 369	△ 272	△28.39
今回修正予想 (B)	8,571	△ 620	△ 639	△ 500	△52.22
増 減 額 (B-A)	△ 234	△ 321	△ 270	△ 228	—
増 減 率 (%)	△ 2.7	—	—	—	—

(ご参考)

前期第2四半期実績 (2011年3月期第2四半期)	8,005	△ 1,273	△ 1,218	△ 1,202	△125.45
------------------------------	-------	---------	---------	---------	---------

2、修正の理由

当第2四半期累計期間の業績予想について、営業利益、経常利益及び四半期純利益が、連結、個別とも、前回予想から修正を要する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

当第2四半期累計期間の連結売上高は16,242百万円（前回予想比△1.9%/前年比+3.1%）、個別の売上高は8,571百万円（前回予想比△2.7%/前年比+7.1%）を見込んでおり、期初の予想はやや下回ったものの、いずれも前年を上回ることができました。

費用面では、昨年初めて開催した「全国統一高校生テスト」を今年度も引き続き実施したほか、コンテンツの充実に積極的に取り組みました。また、東日本大震災の教訓を生かし、非常時にも全国の加盟校へコンテンツ提供を確保できる体制をとるため、配信設備バックアップ体制の整備を進めました。このため、費用全体では期初の予想を上回り、連結で16,656百万円の見込みとなりました。一方で、テレビCMなど効果的な宣伝活動の展開、校舎運営の見直しのほか、通信費、光熱費、印刷費などの積極的な合理化など、経費削減の効果が徐々に現れており、前年比で売上高482百万円の増加に対し、費用は266百万円の減少となっております。

この結果、当第2四半期累計期間の連結、個別各利益はそれぞれ期初予想は下回る見込みとなりましたが、以下の通り各利益において、前年比で大きく改善することができました。

（連結業績）

（単位：百万円）

	当期見込	前回予想	前回予想比	前年実績	前年比
連結営業利益	△ 413	△ 117	△ 296	△ 1,162	+748
連結経常利益	△ 575	△ 221	△ 354	△ 1,301	+725
連結四半期純利益	△ 632	△ 387	△ 245	△ 1,748	+1,115

（個別業績）

	当期見込	前回予想	前回予想比	前年実績	前年比
営業利益	△ 620	△ 299	△ 321	△ 1,273	+652
経常利益	△ 639	△ 369	△ 270	△ 1,218	+578
四半期純利益	△ 500	△ 272	△ 228	△ 1,202	+702

なお、当社グループでは営業収入の計上が生徒募集期に当たる第3、第4四半期に集中し、第1四半期から第2四半期にかけては、費用計上が先行する傾向があります。昨今は期の前半に積極的な施策を進めており、期の後半に売上計上が増加する傾向が、さらに強まっております。

3、2012年3月期（通期）の業績予想について

今後の国内経済は、震災の影響や急速な円高に加え、世界規模の経済低迷、金融不安などにより、先行きの不透明感が増しております。当業界においても少子化の影響による市場縮小から、厳しい経営環境が続いている状況です。

こうしたなか、当社グループにおいては、第2四半期も生徒募集が好調で、第3、第4四半期は、売上面で概ね期初予想通りの推移が見込まれます。一方、費用面では削減施策の実効が現れつつあり、さらに効率化が進んでまいります。

通期の業績については、連結、個別とも期初予想通りの数値を見込んでおり、前回発表（2011年5月13日付「平成23年3月期決算短信」）の業績予想から変更はありません。

※ 上記に記載した当期の業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであります。予想に内在するさまざまな不確定要因や今後の事業運営における内外の状況変化等により、実際の業績と異なる場合があります。

以 上